

こしわ 越王だより

家庭数配付

地域回覧

発行所 新潟市立巻北小学校



<https://blog.city-niigata.ed.jp/makikita/>

令和6年1月10日 No. 12

笑顔あふれる一年に

校長 田中 正栄

年明け早々の大きな地震、航空機事故のニュースで幕を開けた2024年でした。被災された皆様の日も早い復興を心より願っています。また、地震後の通学路等の危険箇所点検にご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。子どもたちの学校生活が再開しましたが、見守り隊の皆様をはじめ、ご協力いただける皆様から、子どもたちの登下校について様子を見ていただければ幸いです。どうぞ、よろしく願いいたします。

さて、12月の最終登校日、全校集会で子どもたちに「笑顔」の話をしました。



「あなたにとって、よかったこと、楽しかったことは何ですか？」

4月からを振り返ってみると、いろいろなことがありました。(中略)人は、こんなふうによかったことや楽しかったことを考えると、自然と笑顔になります。実は、笑顔には、すごい力があるのです。

まず、笑顔になると気持ちが明るくなります。そして、元気になります。笑顔は、自分だけでなく周りにいる人のことも元気にしてくれるのです。また、人は笑顔でいると記憶力もよくなるのだそうです。脳には、海馬という記憶をつかさどる部分があります。笑うことで、この部分が活性化され、記憶力がよくなるのだそうです。さらに、笑顔でいると免疫力も高くなるそうです。免疫力というのは、風邪や病気から皆さんの身体を守ってくれる力です。笑顔には、こんなにすごい力があるのですね。

でも、毎日生活していると、よいことや楽しいことばかりではありませんよね。ですが、大丈夫です。そんなときの、とっておきの方法は、唇の端を上げることです。つまり、自分で笑顔を作るのです。人間の脳は、唇の端を上げて笑顔を作るだけでも、何か「よいこと」「楽しいこと」があると考えるのだそうです。そうすると、自然と気持ちが明るくなったり、元気になったりします。皆さんも、時々、唇の端を上げて笑顔を意識してみませんか。皆さんの2024年が、笑顔あふれる一年になることを願っています。

笑顔の効果は、心理学や脳科学の分野でも取り上げられており、小学校6年生の国語の教科書にも出てきます。巻北小の新しい一年が笑顔あふれる年になってほしいと思っています。そのために、私たち大人は、どんなことができるでしょうか。

もちろん、巻北小の教職員は、北っ子が笑顔で過ごすことができるように、一生懸命に取り組んでいきます。そして、私たち自身も笑顔で子どもたちに接していきたいと思えます。厳しく指導すべきことに対しては、毅然として指導しますが、日常の多くの場面では、「あるべき姿を教え、子どものわずかな変化を見つけ、認め励まし、笑顔でほめ続ける」指導を行っていきます。

学校や家庭は、子どもたちにとって社会の入り口です。笑顔でいることは、社会で過ごしていくうえで、とても大切なことです。また、笑顔で過ごしていくためには、正しい言葉づかいができることも大切です。大人の言語環境は、子どもたちにとっても大きな影響を与えます。子どもたちは、普段、見たり聞いたりしている言葉を使いがちです。だからこそ、巻北小の教職員は、子どもたちへの言葉づかいに気を付け、日々の指導を行っていきます。成長途中にある子どもたちですから、よいこともすれば、時には、よくないこともしてしまうかもしれません。そんなときには、周りの大人が「正しいことを教え、笑顔でほめ続ける」ことが大切です。

子どもたちの笑顔、ご家庭・地域の皆様の笑顔、巻北小の教職員の笑顔があふれる一年になることを願っています。

生活科・総合的な学習の時間の紹介

	テーマ	活動の様子
1年	<p>きれいにさいてね</p> 	<p>アサガオの栽培を通して、植物への関心を高めたり、命あるものを大切にしようとする心情を育んだりする学習を行っています。毎朝、1年生教室脇のテラスには、アサガオの成長に驚いたり、開花を喜んだりする元気な声が溢れました。頑張って咲かせた花を見てもらうために、「あさがおまつり」を行って園児さんと交流しました。栽培活動のまとめには、ボランティアの皆さんから手助けをしてもらいながら、長く伸びたつるでリースを作りました。</p>
2年	<p>もっとなかよしまちたんけん</p> 	<p>「地域には何があるのかな？」と子どもたちの思いから、巻の地域に探検に出かけました。主に商店街のお店や公共施設などを見て回りました。お店に売っている品物や働いている人の仕事について質問をしたり、お店の中を見学したりしました。見付けたことを紹介する発表会を行い、他のお店の様子やお仕事のこと、工夫していること、地域に寄せる思いなどに気付くことができました。</p>
3年	<p>鯛車を広め鯛</p> 	<p>3年生では、巻のよいところについて学習を進めています。竹野町方面を探検し、菖蒲塚古墳や金仙寺を見学しました。またのぞきからくりや巻文化会館も見学し、巻には語り継ぐべき素敵なものがあることを学びました。さらに巻のことを深めて学び、鯛車について話を聞き、復活した鯛車を大切に受け継いでいかなければならないことを改めて感じる機会となりました。</p>
4年	<p>みんなにやさしいまちを目指して</p> 	<p>4年生は、巻の街を誰にとっても住みやすい街にするために、どんなことができるかを考えました。体の不自由な方の講話を聞いたり、高齢者の疑似体験をしたりしました。また、巻の街に出かけて、自分たちの住む街をいろいろな立場に立って見つめ直し、よい点や改善点を見付ける活動をしました。これから、誰にとっても住みやすい巻にするために、巻の街や学校での啓発活動を行います。</p>
5年	<p>目指せ！日本一の巻北米</p> 	<p>米作りの先生である小林一好さんと地域の方、JAの方と一緒に、「新之助」を育てました。春のすじまきから始まり、田起こし、代かき、田植え、草取り、稲刈りを体験しました。今年度は、米販売にもチャレンジしました。多くの方々から、「とてもおいしかった。」と感想をいただきました。子どもたちは作り出すことの大変さや楽しさを学び、達成感を感じていました。</p>
6年	<p>夢に向かってはばたこう</p> 	<p>自分の将来について考える学習を進めています。堀西蒲区長様、ライフパートナーかくだ山の岩崎様、巻商工会青年部の皆様をゲストティーチャーとしてお招きし、地域で活躍されている方々の話を直にお聞きすることができました。子どもたちは、働くことへの情熱を目の当たりにし、夢や目標をもつ大切さに気付くと共に、地域の一員として自分にできることは何かを考えていました。</p>

